

戸田市教育政策シンクタンク

戸田市教育政策シンクタンクでは、様々な産官学連携を進め、教育改革や学校現場において有用な知見を得られるよう調査・研究事業を進めています。ここでは、2019年度に希望する学校で実施したAIGROW（創造性や自己効力、共感・傾聴力などのコンピテンシーを客観的に測定するアセスメント）の分析結果の一部を紹介します。

学力とコンピテンシーの関係

全体的に正の相関がありました（学力が高いとコンピテンシーも高い）。特に、小学校では論理的思考、中学校では論理的思考、課題設定、疑う力、表現力でその傾向が強く、これらのコンピテンシーは学力向上のための授業改善に位置付けると効果的と考えられます。一方、その他のコンピテンシーを向上させるには学校の取組や学級経営等に意図的に位置付けることがより重要となります。

	創造性	論理的思考	個人的実行力	自己効力	共感・傾聴力	決断力	疑う力	課題設定	耐性	表現力	柔軟性	影響力の行使	地球市民
小_国語	0.399	0.478	0.389	0.360	0.372	0.353							
小_算数	0.373	0.429	0.368	0.354	0.324	0.332							
中_国語	0.373	0.488	0.382	0.335	0.364	0.385	0.443	0.442	0.277	0.429	0.385	0.334	0.385
中_数学	0.408	0.515	0.398	0.381	0.333	0.397	0.450	0.454	0.286	0.464	0.376	0.375	0.398
中_英語	0.387	0.557	0.419	0.377	0.383	0.436	0.466	0.474	0.309	0.469	0.417	0.372	0.410

（表中の数字は相関係数、赤字は比較的強い相関関係があったことを示す。学力は平成31年度埼玉県学調結果を利用）

コンピテンシー向上に有効と考えられる取組

創造性	複数人、男女混合、多様性、单元ごとなど、グループ分けを意識して指導に取り入れる。心理的安全性を考え、同質性も考慮する。
自己効力	担任が毎日の帰りの会で1人ずつ、皆に見えていないところを褒める。「先生は常に見てくれている」という安心感と代理成功体験につながる。
共感・傾聴力	男女間の心理的安全性が確保された状態でグループ活動を行い、意見を否定せず褒め合う。教員役や1年生役など、相手の立場になり切る活動も有効である。

コンピテンシーが向上したクラスの担任の先生方に、日常の実践についてヒアリングを行いました。その結果を以下の表に示します。

論理的思考	市のプログラムや思考ツール、ICTを活用し、結論を導いた理由付けやプレゼンテーションを行う。
個人的実行力 決断力	新しいイベントの立ち上げや学年縦割り活動のリーダーなど、経験したことのない役割を一人一人主体的に行う。

【PBL】実践を止めない ～コロナ禍を糧に飛躍の年へ～

— 困難を糧に自走しはじめる学校と子供たち —

今年度は、コロナ禍という未知の課題に直面する中で、正解のない課題を見付け、解決し、未来を切り拓く力の育成を目指すPBL型の学びの必要性が再認識され、各学校における実践が加速化した一年になりました。

特に、子供が主体となり、コロナ禍における自分や誰かの課題解決をするための様々なプロジェクトが多く立ち上がりました。例えば、林間学校に行けなかった子供たちが、「新しいかたちの思い出作り」をテーマに、プログラミングによるミニ映画を制作して鑑賞するイベントを企画したり、臨時休業期間を経て自主的な学びの重要性を感じた子供たちが、イェナプランのブロックアワーを学年内に導入し、自分たちの自主性伸長に取り組んだりするプロジェクトなどが行われました。また、こうした取組の中でICTが課題解決のツールとして探究の各過程に適切に位置づくようになりました。オンラインによるアンケート調査や学校外の専門家との遠隔交流、ホームページやSNS等による発信、クラウドを活用した共同編集作業など、社会に開かれた学びや協働的な学びの実現に向けICTが効果的に活用されていました。

こうした学校や子供たちの取組を伴走する形でバックアップするため、教育委員会は外部アドバイザーのコーディネーターや担当指導主事等を学校に派遣をした他、夏季研修会として「PBL研修会」をのべ2日間、講師2名体制に拡充するなどの支援を行いました。

また、PBLの成果発表の場となる「プレゼンテーション大会」も緊急事態宣言下において、オンラインによるライブ配信によって開催しました。

子供も大人も、コロナ禍を「プロジェクト」と捉え、未知の課題に対して自分たちができることを考え、粘り強く解決に取り組んだ結果、多くの素晴らしい実践に繋げることができました。

